



子どもセンターてんぽシンポジウム
飛び立つために羽を休めてvol.17

「こどもまんなか社会」 を作ろう！

開場
午後1時

2024年6月1日 **土** 午後1:30~4:30

会場 横浜市旭区民文化センター サンハート ホール
(〒241-0821 横浜市旭区二俣川1-3 「ジョイナステラス3」 5階)

参加費 無料 **定員** 300人 (予約不要)

CONTENTS

1 子どもセンターてんぽ活動報告

2 基調講演：子どもとかかわる全ての大人に望まれる資質や姿勢

講師：松原 康雄 氏

【講師略歴】1951年東京都生まれ。明治学院大学社会学部社会福祉学科教授。明治学院大学学長。明治学院大学名誉教授。厚生労働省社会保障審議会児童部会委員。横浜市児童福祉審議会委員。東京都児童福祉審議会委員。「社会的養護における子どもの「声」の受け止め—現状と課題—」（2014年12月）などの児童福祉に関する多数の論文と著書がある。現よこはまチャイルドライン代表理事。現子どもセンターてんぽ副理事長。



3 パネルディスカッション：児童福祉と「こどもまんなか社会」

〈コーディネーター〉高橋 温 氏（弁護士、子どもセンターてんぽ理事長）

〈パネリスト〉

- 中山 俊介 氏（自立援助ホームみずきの家ホーム長）
- 安島 大輝 氏（神奈川県中央児童相談所 児童福祉司）
- 畑 久恵 氏（子どもシェルターてんぽボランティア）
- 社会的養護経験者

主催：認定特定非営利活動法人子どもセンターてんぽ

後援：神奈川県 神奈川県教育委員会
神奈川県社会福祉協議会 横浜市 横浜市教育委員会
横浜市社会福祉協議会 川崎市 相模原市 t v k
神奈川新聞社 神奈川県弁護士会
子どもシェルター全国ネットワーク会議
(申請を含みます)

お問合せ

子どもセンターてんぽ事務局

横浜市港北区新横浜3-18-3 新横浜法律事務所内

☎ 045-473-1959

(月～金 9:30～17:30)

<https://www.tempo-kanagawa.org/>

2023年4月にスタートしたこども家庭庁は、子どもにかかわる全ての政策に子どもの意見を反映する仕組みを整えようとしています。同年12月に制定された「こども大綱」は、「こどもまんなか社会」の実現に向けて、①こどもや若者のみなさんが生まれながらに持っている権利を大切にしながら、みなさんの今とこれからにとって最もよいことを行っていくこと、②こどもや若者のみなさんの意見を聴きながら、一緒に進めていくこと、③おとなとして自分らしく生活を送ることができるようになるまで、ずっと、しっかり支えていくこと、の3つを大事にするとしています。また、2024年4月には、児童福祉の分野で意見聴取等手続や意見表明等支援事業などの具体的な取組がはじまります。

そこで、今回は、子どもや若者と一緒に「こどもまんなか社会」を作っていくためには私たち大人にどのような資質や姿勢が求められるのかを、児童福祉に長年携わってこられた松原先生の講演で明らかにしていただき、後半のパネルディスカッションでは、これからの児童福祉の現場で子どもとかかわる大人に求められる資質や姿勢について、日々児童福祉の現場で子どもと関わっている大人や、当事者である子どもの話を聞いて、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。

(こども家庭庁は「子ども」を「こども」で統一して表記しています。)

「子どもセンターてんぽ」とは？

10代後半の子ども・若者たち(以下「子どもたち」という。)の自立を支援することを目的に設立された認定NPO法人です。

さまざまな理由により安全・安心な住まいがない子どもたちの緊急避難施設である「子どもシェルターてんぽ(定員男女6名)」、就労や通学をしながら共同生活を通して自立のための準備をする「自立援助ホームみずきの家(定員女子6名)」、子ども本人や関係者の相談を受ける「居場所のない子どもの電話相談」を運営しています。

私たちは、子どもたちに安全・安心・清潔な住まいとおいしい食事を提供し、利用する子どもたちの人権を守ります。一人ひとりの自立に向けたペースを尊重し、子どもたち自身の選択による自立を支援しています。

利用する子どもたちが望むとき(退所後も)、けっしてひとりにはしません。

ホームページ：<https://www.tempo-kanagawa.org/>

てんぽでは
ボランティア&寄付を
募集しています



会場案内

相鉄線「二俣川駅」改札口を出て右(北口)に出ます。連絡通路を右へ30メートルほど進み、花屋の前にあるエレベーターをご利用ください。ジョイナステラス3(旧・二俣川ライフ)の5階です。

※お車でのご来場はご遠慮ください。

